



雨水利用を進める全国市民の会

会長 辰濃 和男

〒131-0032 東京都墨田区東向島 1-8-1

TEL: 03-3611-0573

FAX: 03-3611-0574

H.P: <http://www.rain-water.org/>



レイン・レポート VOL. 1 (予告)

おいしい情報満載!

市民の会の活動を CD 化します

年報部会では、今年度よりレイン・レポートの発刊を目指して具体的な活動を開始します。経費節減、財源強化のため収益確保、情報伝達の迅速化を図るために、これまで印刷物として発刊していた海外調査報告をCD化し、会員の皆様には廉価で、会員外には適切な価格で販売を行う予定です。

今回は、以下の2つのメニューを考えています。情報データベースの作成には、情報部会や雨水利用事業者の会の方々にも協力していただきます。

年内にデモ版を完成して、来年3月、京都で開かれる世界水フォーラムまでには発刊する

予定となっています。

また、調査研究レポートの英訳版の発刊も来年度には予定しています(世界水フォーラムにはデモ版あるいは概要版を配布します)。

さらに、『雨水利用施設調査プロジェクト』『雨水利用技術者研修プロジェクト』などと協力して、これらのCD化についても計画しています。

年報部会のメンバーは、村瀬、菊地、中臣、星、宮村の5人です。会の活動、資料の編集、CD化に興味のある方はどしどし参加してください。お待ちしております! (宮村)

(1) 調査研究レポート (Vol. 1)

- ・ バングラデシュの砒素中毒被害調査、水質調査 (2001)
- ・ バングラデシュのスカイウォーター・プロジェクト (2002. 3~8)
- ・ タスマニアの雨水ボトリング事業 (2002. 1)
- ・ メルボルンの雨水利用住宅調査 (2002. 1)
- ・ ドイツ (マンハイム) の雨水利用国際会議報告 (2001. 9)
- ・ ドイツの雨水利用調査 (2001. 9)

(2) 情報データベース (Vol. 1)

- ・ 雨水利用関係の文献データベース (500件程度)
- ・ ニュースレター『あまみず』バックナンバー (1~29号)
- ・ 雨水利用事業者の会の製品紹介 (雨水タンクなど)
- ・ 家庭用雨水タンクの助成制度の現状紹介
- ・ 雨水利用集水屋根面積自動計算プログラムの紹介

暑
中

お見舞い

申し上げます

広報部会



2002年度事業活動予定



7月5日の総会で、2001年度の事業・決算の報告、2002年度の事業計画・予算案の発表と役員選出が行われ、すべて承認されました。

2002年度に事業計画をもつ部会・プロジェクトチームは以下のとおりです。企画から楽しんで、勉強して、これからの環境問題もしっかり考えてみませんか。皆さんが自由に参加できるプロジェクト制ですので、お気軽に事務局までお問い合わせください。

年報部会 (1ページ参照)

(新) 雨の事典公開セミナーPT (3ページ参照)

(新) 雨のエンジョイPT

(新) 雨水利用の技術者研修PT

(新) 手作り雨水タンク講習PT

(新) 雨水利用施設調査PT

雨水利用国際協力・支援PT「スカイウォータープロジェクト」(「あまみず第28号」に紹介)
第3回世界水フォーラム雨水利用分科会
2003年3月16日~23日(於;京都)

雨水利用市民団体交流会議の開催

NPO法人化、新事務局体制検討PT

雨水探検隊PT

情報部会

広報部会

下水道料金セミナーPT(終了)

雨水資料館展示拡張(終了)

国連・墨田区との共同による雨水利用ブックレット製作(終了)

新規プロジェクトの紹介 ... 雨のエンジョイPT

こんなことを考えています

担当：大塚さん

雨中散策(都会と郊外1回ずつ)

秋雨のなか合羽を着て1~2時間雨の中を歩く。

雨のアンケート

雨へのイメージを調査し、雨のイメージアップに反映させる。

雨音をカガクする...雨の音を造る、雨音の聴くらべなど

今年度はレインスティックの試作と、キット販売を検討する。



『空と海と大地をつなぐ雨の事典』

P.221より

つくってみました「雨の音」

...8月10日(土)に雨水資料館でレインスティックづくり会が開かれました。先生となった徳永さんは、生地が巻いてあった筒やプラスチックを再生したペレットなどの棄物を利用して、工夫に次ぐ工夫の作り方をレクチャー。参加された高原さんは、筒に刺した竹串の刺し方、トウモロコシ、珊瑚、あずき、ペレットなどの様々な材料、筒の種類などによって「雨の音」が微妙に違ってきて、レインスティックづくりの奥の深さを実感しました。(高原談)

第1～3回 参加者募集!

身近な雨から地球を見よう

- 『雨の事典』公開セミナー



雨との新しい出会いをしませんか。雨を享受してきた私たちのくらしや文化、気象、環境問題、雨水利用の豊富な事例など雨づくしの企画です。『空と海と大地をつなぐ雨の事典』をセミナーの形でさらに深めます。(長尾)

通しでも1回ずつでも受講可 応募者が多数の場合は抽選です
できれば会員以外の方にも呼びかけてください(同封チラシ参照)

第1回 “雨に親しむ市民”の句会 - 俳句・短冊・百花園 - 締切 8月31日(土)

「季語の現場」を求めて全国を歩く黒田さんを囲んで...

日時：2002年9月7日(土) 午後0時30分～5時

講師：黒田 杏子 氏 (俳人)

場所：向島百花園・御成座敷 (東武伊勢崎線「東向島駅」下車 歩7分)
墨田区東向島3-18-3・電話03-3619-4997(茶亭さはら)

定員：25名 参加費：3,000円(会員は2,500円) 軽食付

その他：雨の句をつくられた方は、1,2句ご持参下さい。

第2回 高尾山のブナ林を歩こう 締切 9月21日(土)

自然の宝庫、高尾山の見所めぐり、建設の進む圏央道の工事現場を見学します

日時：2002年9月28日(土) 午前10時集合

案内人：人見 達雄氏(高尾の自然をまもる市民の会、裏高尾圏央道反対同盟)他

集合場所：京王線「高尾山口」駅 改札口

定員：30名程度 参加費：500円(保険代含む) その他：昼食各自持参。少雨決行

第3回 雨のおいしい話(雨風料理付) 締切 10月12日(土)

雨にまつわる料理を食べながら雨のよもやま話を語り合う

日時：2002年10月19日(土) 午後1時～4時

講師：レインドロップス(『雨の事典』執筆メンバー)

場所：雨水資料館(すみだ環境ふれあい館に併設)
(JR総武線「亀戸駅」歩20分 東武亀戸線「小村井駅」歩10分)
墨田区文花1-32-9・電話03-3611-6355

定員：40名程度 参加費：1,500円(昼食代実費1,000円含む)

第4回 気候がつけた地名の話

気候と地名のつながりから見えること...

日時：(予定)2002年11月頃 午後

講師：吉野正敏 氏(地理学者)(交渉中)

場所：未定(都内) 定員：50名程度

参加費：1,500円

第5回 雨の森を語る

世界の森を訪ねた『森の惑星』の著者に雨と生き物の関わりについて語っていただきます

日時：(予定)2003年1月下旬～2月頃の土曜日午後

講師：稲本正 氏(オーク・ヴィレッジ主宰)(交渉中)

場所：未定(都内) 定員：50名程度 参加費：1,500円

番外編 第3回世界水フォーラム 雨水利用分科会へ参加しよう

第3回世界水フォーラムが京都、大阪、滋賀で開催されます

その雨水利用分科会では水危機の時代にむけて雨水利用の今後を国際的に議論します

日時：2003年3月20～23日 場所：京(みやこ)エコロジーセンター* (3月21、22日)その他は現在未定

* 京都市伏見区深草池ノ内町13・電話075-641-0911 *平成9年の地球温暖化防止京都会議(COP3)の開催を契機に、地球規模の環境問題を学び、実践する「COP3記念館」として2002年4月にオープン。雨水利用をはじめ太陽光発電、躯体放射冷暖房、地熱利用など導入した施設。

申込方法

お名前 ご住所 連絡先(電話、FAX、Eメールなど) 参加希望講座名
を記載の上、受講日の1週間前までにFAX 又は はがきで 事務局 『雨の事典』公開セミナー担当
へ申し込んでください。受講者の方には詳細のご案内をお送りいたします。

FAX 03-3611-0574 〒131-0032 墨田区東向島1-8-1

より信頼できる事務局にむけて

新しいスタッフ求む！

雨水を資源として生かそうという潮流が日増しに高まってきた...こんな実感が最近富にします。当会が日本水大賞を受賞したり、朝日新聞(2002.8.5)の社説にも大きく取り上げられたりもしていますが、事務局には取材申し込み、問い合わせの回数も増え、その内容も複雑多様化しています。これまで特別のマニュアルもなく、スタッフが早急に対処できずに困ってしまうことも多々ありました。市民の会発足以降7年が経過し、村瀬事務局長を先頭にスタッフが支えてきた事務局運営は、現状のままでは多様なニーズに適切な対処が難しいと、新しい事務局体制を検討しています。(田中)

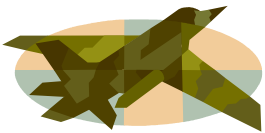
これまで収集した資料の整理整頓からIT化など幅広い対応ができる体制が求められます。財政的条件さえ整えば、会合もできるスペースもある新しい根拠地への移転も視野に入れて行きたいものです。また、従来は郵送していた印刷物や通知類は、可能な限り今後Eメールを利用しく予定です。(このため今回、別紙で会員名簿の整理をしますので、ご協力願います。)幸い、新会員の高橋祐司さんの助力が得られるというので、期待しています。

以上のように事務局体制を刷新するために

は、これまで以上に意欲と責任感を持つ人材の存在が不可欠です。そこで正式なスタッフとして事務局の作業にかかわってくださる人材を探そうという結論に達しました。会員若しくは非会員でも市民の事務局スタッフに参加してくださる方をお待ちしています。詳細は村瀬事務局長まで。

当面の事務局開設 月・水・金
午後2時~5時30分
夏休み 8月10日~18日
年末年始の休み 12月29日~1月5日

バン格拉デシュへ行ってきました



8月30日からバン格拉デシュに行ってきました。今回は、3月に始まった雨水ボトル事業のプラントが完成したのを確認

に行きます。土盛りに思いのほか時間がかかってしまい、少し遅れ気味でした。現在、土盛りも終わり、屋根部分も完成、タンクを製作中とのことです。

この国では土盛りが大切です。雨季には全国土の大半が水の下に隠れてしまう国です。前回訪れたときも、車で移動中に写真のような風景によく出会いました。

計画地は、ハーブの匂いが漂う村です。空は広いし、澄み渡っています。おいしい雨水がふんだんに採れそうです。8月、9月は雨季の最中。3月の乾季と違って、どのような風景に変わっているのかも楽しみです。

お土産は、バン格拉デシュの雨水でしょうか。(今関)



土盛りの上に建つ家々

MICHIKUSA

雷から身を守るには



夏の雨といえば夕立です。昼間はかんかん照りでも、夕方に一雨来ればほっと一息。しかし、雷はちょっと苦手？雷1回の放電量は「家庭で1か月に使う電気20軒分」にもなりますから、凄いパワーです。屋

外で雷に出会つと、命を落とすこともあります。次のようなことが頭の隅にあると、万が一、雷で危険な目に会っても身を守れるかも...

ヘアピン、時計、ネックレス、眼鏡などの金属類を外してポケットに入れ、大勢で固まらないようにします。

雨宿りは、高さ10m以上の木の根元から5~10mの範囲に、幹や枝から2m以上離れて姿勢を低くします。

建物、車などに避難します。建物内では、柱や壁からは遠ざかり、部屋の真中にいるようにします。(仲井)

編集後記

ご 前号の編集が仕事で急にできなくなりましたが、朝以外の能力ある広報部はササッとまとめて上げて遅れることなく第29号を発行しました。カンシャ！情報公開の時流のなかで、情報の行き来がしにくくなつては「市民の会」の名がすたります。「あまみず」では途中経過も含めて皆さんに新鮮な情報をお届けできれば幸いです。ご意見や雨に関するエッセイなど投稿も大歓迎です。(朝)